

令和3年度事業報告

自 令和 3年 4月 1日～至 令和 4年 3月31日

新型コロナウイルス感染症は、発生より2年を経過しましたが、未だ収束の気配は見えていない状況であります。協会においても感染対策を徹底し業務を継続してまいりました。

業務においては、自動車の主要部品である半導体等の供給不足により、自動車生産の停止並びに減産の状況でありました。

国内の新車販売は約421万5826台、前年度比9.5%減と3年連続の減少、県内においても89,334台と前年度比12.2%の減と厳しい年度となりました。

この様な中、主体とする自動車のナンバープレート交付・頒布、印証紙等の売捌き事業は、国等の指定・委託等の業務でありますので、常に法令の遵守に務め適切確実に遂行し利用者利便に務め「安全・安心な車社会」構築に寄与しました。

実施事業関係（公益）

（1）封印取付け受託業務

この事業は昭和46年以来、長野運輸支局から「甲種受託者」として委託を受け自動車を担保する登録制度の重要な業務であるとの認識のもと、常に適正な業務の遂行に努めております。

また、甲種受託者の名の下で実施しております、指定整備事業者、行政書士、優良車体整備事業者並びに封印分室においても適切な指導を行い、ユーザーの利便・負担軽減に努めました。

（2）自動車登録等の適正化について

春先の移動時期に自動車の住所変更・「不正改造自動車の排除運動」・年度末は繁忙期となるため名義変更及び抹消登録等早目の申請をテレビ・ラジオスポットで所有者にあらゆる機会を捉え啓発してまいりました。

(3) 交通安全事業

春秋の全国交通安全運動、夏の交通安全やまびこ運動、交通事故ゼロチャレンジ、飲酒運転撲滅キャンペーン等に協力、反射材を県警に提供し交通事故防止を県民に呼びかけました。

(4) 特定寄付事業

令和4年2月 社会福祉法人中央共同募金を通じて、公益財団法人交通事故遺児等育成基金に寄付し、同財団が実施している自動車事故被害者援護事業に協力いたしました。